

ジニア(百日草)

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月

国体・障スポ		国体: 9月29日から10月9日 障スポ: 10月13日から10月15日				
国体・ 障スポ	一般	播種	移植	定植	開花	
一般		播種	移植	定植	開花	

※摘心や切り戻しで開花時期や花数は変わります。
※育成期間は一例となります。
花の生育は栽培環境によって異なります。

特徴

初夏から晩秋まで咲き、開花期が長いことから、和名で百日草とも呼ばれる。直射日光にも強く、暑い夏でも強い数少ない植物で、初心者でも育てやすい。古くから親しまれている大輪系や人気のある小輪系がある。



原産地 — メキシコ
科名 — キク科
花言葉 — しあわせ

播種



種子

ジニアの種は草花の種としては比較的大きくまきやすいでしょう。また、光を嫌うので、種が隠れる程度に覆土します。発芽適温は25℃前後で発芽率は比較的高く、発芽したらよく日に当てましょう。

移植

本葉が2~4枚ほどになったら1本ずつ丁寧にポットなどに植え替えます。

定植

適した土壤：有機物に富み、水はけがよい土壤

ポットの底から根が見えるようになったら、植え付けします。ジニアは開花・生育期間が長いので、肥料が不足しないように定植後は月に一度ほど追肥を与えます。花壇植えの場合、株間は30cm程度が目安です。

管理

暑さに強く、日当たりと風通しの良い場所を好みます。乾燥気味に管理し、水やりは土の表面が乾いたら与えましょう。しかし夏場においては蒸発が激しく、水切れを起こしやすいので朝と夕方にしっかりと水を与えましょう。



小輪系